

二〇一六年 一月

## 「今月の言葉」と「今月の聖語」についての紹介

### 今月の言葉

これからが これまでを決める

藤代 聰磨

これまでの様々な経験を振り返ったとき、誰しも、上手くいったことや成功したこと、褒められたことがあるはずです。でも、そのこと以上に、上手くいかなかったこと、失敗してしまったこと、怒られてしまったことの方が、案外多かったのではないのでしょうか。

「無常」と言うように、時間は常に流れていき、当然のことながら、過去に戻ってやり直すことは出来ません。その過去からの積み重ねが今の自分だと言えるでしょう。

しかし、今月の言葉は「これからがこれまでを決める」と述べられています。これは、これまでの失敗を自分自身がどう活かし、行動に移すかで、その失敗の意味が大きく変わることを示しているように思います。肝心なのは、これからの行動であり、行動次第で、これまでの行いが意味あるものに転じられていくように感じます。

勉強やクラブ活動、学校生活など、自分自身の反省点を整理して、これから始まる新しい一年に活かしていきましょ。

### 今月の聖語

もしも為すべきことであるならば、それを為すべきである。

『ダンマパダ』

『ダンマパダ』とは、釈尊の教えを集めたもので、人間そのものへの深い反省や生活の指針を短い句によって示したものです。

早いもので、新年である二〇一六年を迎えました。「一年の計は元日にあり」という言葉があるように、勉強やクラブ活動等、今年目標と計画を定めた人も多いことだろうと思います。

仏陀の言葉には続きがあり、「それを断乎として実行せよ」と述べられています。つい、楽な方に流されてしまい、目標を見失ってしまうことや、せっかく掲げた目標を忘れて日々過ごしてしまう様なことがあるかも知れません。「自分の為すべきことを為す」そして、「断乎として実行すること」は決して簡単なことではありませんが、強い意志を持って、自分自身の目標に精進してください。そのことが、自分をより成長させてくれます。